

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 41 回通常総会

平成 28 年 5 月 26 日 (木) TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター



一般社団法人
協力隊を育てる会

第 41 回 通常総会

・・・・・・・・・・資料目次・・・・・・・・・・

第 41 回通常総会 報告書

平成 27 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	4
平成 28 年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・	39
平成 28 年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・	50

第 41 回通常総会 議案書

第 1 号議案

平成 27 年度決算承認の件・・・・・・・・・・・・・・・・	53
公益目的支出計画実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	58
監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	59

第 2 号議案

役員に関する件・・・・・・・・・・・・・・・・	60
-------------------------	----

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 41 回通常総会

報告書

平成 27 年度事業報告

平成 28 年度事業計画

平成 28 年度収支予算

平成 27 年度役員一覧

1	会長	足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
2	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局長
4	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	常任理事	奥永眞智子	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理事	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
7	理事	尾関 史生	株式会社セキュリティ新聞社代表取締役
8	理事	澤田 澄子	キヤノン株式会社元 CSR 推進部部长
9	理事	重 政子	認定 NPO 法人「持続可能な開発のための教育の 10 年」推進会議代表理事
10	理事	島田 茂	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
11	理事	田中 潮	日本青年団協議会参与
12	理事	土井 章	国際航業株式会社技術本部・渉外担当部長
13	理事	山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
14	監事	白山 肇	大東文化大学非常勤講師、富山県青年海外協力隊を育てる会会長
15	監事	中村 義人	公認会計士、東洋大学経営学部非常勤講師

平成 27 年度顧問・参与一覧

1	顧問	黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
2	顧問	宮崎 幸雄	元公益財団法人ロータリー米山記念奨学会専務理事
3	顧問	山本 保博	医療法人社団大坪会東和病院院長
4	参与	大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
5	参与	小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
6	参与	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
7	参与	高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
8	参与	西川 政善	徳島文理大学総合政策研究科教授、元小松島市長
9	参与	吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
10	参与	森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
11	参与	横尾賢一郎	公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 上席執行役

平成 27 年度事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

昨年は、青年海外協力隊が発足し 50 周年という特別な 1 年でありました。11 月には、横浜パシフィコにて天皇皇后両陛下ご拝謁のもと、50 周年記念式典が盛大に開催されました。その後の当会主催による「青年海外協力隊 50 周年を祝う会」には、全国から育てる会はじめ協力隊 OB や支援者の皆さまに参集いただき、この記念すべき年を共に祝うことができました。

また、50 周年を機に(公社)青年海外協力協会と(公財)海外日系人協会と共に第 11 回 JICA 理事長表彰国際協力感謝賞(団体の部)を受賞したほか、全国の育てる会も特別表彰として記念盾が授与される等、次の半世紀に続く「協力隊に参加し易く、その経験を活かせる社会づくり」のために思いを新たにしました次第でございます。

平成 27 年度は、会員の皆さまをはじめ、全国の育てる会、支援者の皆さまよりご支援ご協力をいただき、以下 3 つの重点事業を軸に多彩な活動を展開して参りましたので、ここにご報告申し上げます。

1. 全国組織化の完成と連携強化

昨年 8 月には「京都府 JICA ボランティア応援団」が、今年 2 月には「神奈川県青年海外協力隊支援協会」が設立され、ついに念願の 47 都道府県における組織化が完成しました。また、「情報と課題の共有」を目的に、石川県、福岡県、秋田県にてブロック懇談会を開催したほか、1 月には 3 年ぶりとなる全国代表者会議を東京にて開催。半世紀を超えた協力隊事業に対し、応援団としての役割や課題、取り組みについて活発な意見交換を行い、全国組織としての活動を踏み出す第一歩となりました。

2. 青年海外協力隊 50 周年への取り組み

全国では、地域の育てる会と OB 会が連携し、50 周年を記念した様々なイベントを開催いたしました。中でも石川県、愛知県、岐阜県では開発教育全国集会在開催され、市民に対して協力隊経験が地域活性化の原動力になり得る事例を数多く紹介することができました。また、青年海外協力隊事務局をはじめ国内外の協力隊 OB や関係者、支援者にご協力いただきながら協力隊事業の軌跡をまとめた記念誌「持続する情熱」を編纂。400 ページを超える詳細版もついに完成し、いよいよ発売開始となります。

3. 財政基盤の強化

10 年目を迎えたスタディツアーや山形県庄内町青少年育成事業など、従来の「視察の旅」事業のノウハウを活かした事業展開も徐々に成果を産み始めています。一方で、これらの経験を踏まえて省庁の公示案件に積極的に入札したものの、今年度は目標とする事業を落札出来ず、競争入札の厳しさに直面した年でもありました。安定的な収入源確保という課題は依然として残っており、一層の努力が求められています。

平成 28 年度、当会は設立 40 周年という節目を迎えますが、これからも全国の仲間たちと共に、自由な発想をもって協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業の価値を広く社会に伝えて参りたいと思いますので、今後とも皆様の更なるご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

重点事業

全国組織化の完成と
連携強化

協力隊50周年
育てる会40周年
への取り組み

会員拡大と
財政基盤の強化

理解促進事業

開発教育全国集会
の開催

家族交流会・帰国
報告会の開催

「視察の旅」の
企画実施

スタディツアーの
企画実施

訓練所視察会の
企画実施

カレンダーの
制作販売

助成事業

小さなハート
プロジェクト

小さなハート
基金

帰国隊員/青年
支援プロジェクト

馬場医療・福祉
奨学金

地域の育てる会
活動助成

広報事業

育てる会ニュース
の編集発行

Web・SNSの
積極的活用

総務活動

各種会議の開催

公的資格の取得

各種交流会の
開催

受託事業

「クロスロード」
編集発行業務

帰国隊員支援業務

海外派遣研修業務

平成 27 年度事業報告

【重点事業】

1. 全国組織化の完成と連携強化

■今年度中に全国組織化を完成させる。

1) 京都府

以下のとおり設立総会を開催した。

組織名 : 京都府 JICA ボランティア応援団

日 時 : 8月24日(月) 17:30~

場 所 : 京都ロイヤルホテル&スパ

概 要 : 府知事・山田啓二氏、京都市長・門川大作氏はじめ近隣の育てる会組織会長等、約100名が出席。長原亮太 OB (22-3/ルワンダ/村落開発)、林千恵 OG (22-2/フィリピン/ソーシャルワーカー) のスピーチあり。



【役員等一覧】

1	顧問	山田 啓二	京都府知事
2	顧問	門川 大作	京都市長
3	顧問	立石 義雄	京都商工会議所会頭
4	相談役	佐竹 力総	株式会社美濃吉代表取締役社長
5	会長	平井 誠一	株式会社西利代表取締役社長
6	副会長	内田 隆	京都青果合同株式会社代表取締役社長
7	副会長	高橋 弘	有限会社厨厨代表取締役
8	副会長	福井 正興	株式会社福寿園京都本店代表取締役社長
9	専務理事	竹内 裕貴	株式会社タケウチ代表取締役社長
10	理事	石田 宏次	株式会社石田老舗代表取締役
11	理事	石田 隆英	株式会社イシダ代表取締役社長
12	理事	石田 昌徳	株式会社エスケーエレクトロニクス代表取締役
13	理事	井上 重樹	常磐印刷紙工株式会社代表取締役社長
14	理事	加藤 弘幸	株式会社京応保険設計代表取締役
15	理事	熊谷 貴夫	ダイイチ株式会社代表取締役
16	理事	糸田 晃稔	ヤサカ観光バス株式会社代表取締役社長
17	理事	佐藤 大臣仁	株式会社洛東工芸代表取締役社長
18	理事	武田 敏也	医療法人社団恵心会京都武田病院院長

19	理事	辻 繁信	株式会社辻工務店代表取締役
20	理事	中川 久公	京都恵美須神社宮司
21	理事	西田 哲也	株式会社弘代表取締役
22	理事	松尾 定信	株式会社松尾製作所代表取締役
23	理事・事務局長	並川 洋介	株式会社天空 PR 代表取締役
24	監事	梅原 克彦	梅原会計事務所 公認会計士
25	事務局	長谷川 洋子	株式会社西利
26	事務局	田之畑 仁美	株式会社西利

2) 神奈川県

①以下のとおり支援者と設立準備に向けた協議を行った。

日 時 : 12月22日(火) 10:30~

場 所 : 星槎学園本部

出 席 : 宮澤保夫氏(星槎グループ代表)、井上一氏(星槎グループ本部長)
足立会長、奥永常任理事

概 要 : 組織化準備の進捗状況確認や各種打合せ等

②以下のとおり設立総会を開催した。

組織名 : 神奈川県青年海外協力隊支援協会

日 時 : 2016年2月13日(土) 13:00~

場 所 : JICA 横浜

概 要 : 県知事・黒岩祐治氏はじめOB会や各県の育てる会事務局長等、約50名が出席。JICA 理事・伊藤直樹氏より50周年記念盾の授与あり。



【役員一覧】

1	顧問	黒岩 祐治	神奈川県知事
2	顧問	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
3	会長	宮澤 保夫	星槎グループ会長
4	副会長	清水 竜一	日総工産株式会社代表取締役社長
5	理事	城内 実	衆議院議員
6	理事	鈴木 悌介	株式会社鈴廣蒲鉾本店代表取締役、小田原箱根商工会議所会頭
7	理事	山田 邦雄	ロート製薬株式会社代表取締役会長兼 CEO
8	監事	井上 一	星槎グループ本部長、学校法人国際学園理事長
9	事務局長	小泉 博	星槎グループ国際室長、公益財団法人世界こども財団事務局長

3) 岩手県

以下のとおり改組し設立総会を開催した。

組織名：JICA ボランティアを支援するいわての会

日 時：2016年1月23日（土）14：30～

場 所：ホテル東日本盛岡

出 席：松岡常任理事



概 要：県知事・達増拓也氏はじめ OB 会等、約 110 名が出席。

JICA 青年海外協力隊事務局長・小川登志夫氏より 50 周年記念盾の授与あり。

【役員一覧】

1	顧問	須永 宏	東京土地販売株式会社代表取締役会長
2	会長	藤井 克己	公益財団法人いわて産業振興センター顧問兼連携推進センター長
3	副会長	宮沢 啓祐	花巻商工会議所会頭
4	副会長	高橋 寛	国立大学法人岩手大学地域連携推進センター客員教授
5	副会長	桶田 陽子	岩手県青年海外協力協会会長
6	理事	鈴木 修	岩手経済同友会相談役
7	理事	石田 勉	株式会社メイクホーム代表取締役
8	理事	佐藤 光保	一般財団法人岩手県青少年会館理事長
9	理事	藤野 正孝	宮沢賢治学会理事
10	理事	本多 康造	岩手県青年海外協力協会監事
11	理事	平藤 由美子	前ジョブカフェいわてセンター長
12	理事	宮 順子	公益財団法人岩手県国際交流協会事務局次長
13	理事	松川 久美子	岩手県立大学看護学部講師
14	理事	米澤 真奈美	まなはりきゅういん院長
15	理事	吉田 直美	特定非営利活動法人くらしのサポーターズ副理事長
16	理事	樋口 正之	岩手県青年海外協力協会事務局長
17	監事	佐々木 祐子	東京土地販売株式会社取締役社長
18	事務局長	高橋 宏昇	前岩手日報社編集局報道第二部長

■全国育てる会と情報・課題の共有を更に深める。

1) 社団広報媒体の積極的活用（育てる会ニュース、Web、facebook 等）

①育てる会ニュースでは毎月 2 面にて各県組織特集を掲載

②Web、facebook では青年海外協力隊 50 周年記念イベントを中心に随時掲載

2) ブロック懇談会の開催

①「関東甲信越・東海・北陸・近畿ブロック懇談会」

日 時 : 7月4日(土) 9:30~12:30

場 所 : 金沢都ホテル(石川県金沢市)

出 席 : 22組織/28名

概 要 : 協力隊50周年記念行事への取り組み、50周年記念誌の制作状況、映画「クロスロード」上映、育てる会40周年への取り組み、企業向けセミナー開催等についての情報共有および意見交換等。

②「中四国・九州ブロック懇談会」

日 時 : 10月3日(土) 15:00~18:00

場 所 : ホテルセントラーザ福岡(福岡県福岡市博多区)

出 席 : 14組織/20名

概 要 : JICA ボランティア事業の現況、各県組織の取り組みと課題についての情報共有等。



③「北海道・東北ブロック懇談会」

日 時 : 10月24日(土) 15:00~18:00

場 所 : 第一会館本館(秋田県秋田市)

出 席 : 8組織/15名

概 要 : JICA ボランティア事業の現況、各県組織の活動取り組みと課題についての情報共有および意見交換等。

3) 各県記念行事への参加

①埼玉県国際青年を育てる会「創立20周年記念講演会」

日 時 : 5月30日(土) 13:30~

場 所 : 日本語国際センター

出席者 : 奥永常任理事

概 要 : ガバレ農場経営者・江原浩昭氏(58-2/ザンビア/野菜)の記念講演等。

②石川県青年海外協力隊を支援する会「設立20周年記念式典」

日 時 : 7月3日(金) 13:30~15:00

場 所 : 石川県地場産業振興センター
新館コンベンションホール

出 席 : 足立会長、奥永常任理事、伊藤次長

概 要 : 「小さなハートプロジェクト」長期支援の金沢二水高校生徒会へ感謝状授与、記念冊子贈呈、県内小中高校へのJICAボランティア活動ビデオ贈呈、JICA副理事長・堂道秀明氏の記念講演等。



③福島県青年海外協力隊を支援する会会長・須佐喜夫氏の「旭日双光章受賞祝賀式」

日 時 : 10月1日(木) 17:00~19:00
場 所 : 郡山ビューホテルアネックス4階「花勝見」
出 席 : 足立会長

4) 各県自主事業への参加

①協力隊を支援するやまがた地球家族の会「中小企業海外支援に関する情報交換会」

日 時 : 11月20日(金) 15:00~17:00
場 所 : 東根市商工会3階会議室
出 席 : 松岡常任理事
概 要 : 県内企業に対する JICA 支援制度・民間連携ボランティア制度等の説明、事例紹介等。

②ふじのくに静岡・協力隊を育てる会

「JICA ボランティア現職教員参加隊員体験報告会&県教育長と語る会」

日 時 : 2016年3月29日(火) 13:30~15:30
場 所 : 静岡県庁西館4階第一会議室C
出 席 : 足立会長、伊藤次長
概 要 : 県教育委員会職員を対象にした帰国報告会、県教育長と帰国隊員による意見交換会。



5) 各県総会・イベント等への参加

	組織名	開催名	開催日	出席者
1	富山県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	4月18日(土)	白山監事
2	岐阜県青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	5月17日(日)	大石事務局長
3	にいがた青年海外協力隊を育てる会	総会・協力隊50周年記念講演会	5月30日(土)	足立会長
4	宮城県青年海外協力隊を支援する会	総会・協力隊50周年記念講演会	5月30日(土)	松岡常任理事
5	茨城県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	5月31日(日)	大石事務局長
6	福井県青年海外協力隊等を支援する会	協力隊50周年記念イベント	6月6日(土)	足立会長
7	協力隊を支援するやまがた地球家族の会	総会・帰国報告会	6月6日(土)	奥永常任理事
8	北海道青年海外協力隊を育てる会	総会・協力隊50周年記念講演会	6月6日(土)	伊藤次長

	組織名	開催名	開催日	出席者
9	(一社) 青年海外協力隊プラザ・大阪	総会・帰国報告会	6月12日 (金)	足立会長
10	千葉県海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6月13日 (土)	松岡常任理事
11	広島県青年海外協力隊を育てる会	総会	6月20日 (土)	足立会長
12	京都府 JICA ボランティア応援団 (仮)	設立発起人会	6月22日 (月)	足立会長 伊藤次長
13	三重県協力隊を育てる会	総会	6月27日 (土)	足立会長 伊藤次長
14	青年海外協力隊神奈川県 OB 会	総会・講演会	6月27日 (土)	奥永常任理事
15	愛知県青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6月28日 (日)	足立会長 伊藤次長
16	宮崎県青年海外協力隊を支援する会	総会・協力隊 50 周年記念講演会	7月11日 (土)	高橋参与
17	愛媛県青年海外協力隊を育てる会	理事会	7月28日 (火)	足立会長
18	徳島県協力隊を育てる会	協力隊 50 周年記念式典	8月2日(日)	奥永常任理事
19	千葉県海外協力隊を育てる会	家族交流会	8月29日 (土)	奥永常任理事
20	福島県青年海外協力隊を支援する会	総会・協力隊 50 周年記念講演会	9月12日 (土)	伊藤次長
21	ふじのくに静岡・協力隊を育てる会	壮行会	9月25日 (金)	伊藤次長
22	中部ブロック育てる会・支援する会	協力隊 50 周年記念協力隊まつり	9月26日 (土)	伊藤次長
23	愛媛県青年海外協力隊を育てる会	総会・協力隊 50 周年記念コンサート	11月23日(月)	大石事務局長
24	愛知県青年海外協力隊を支援する会	スタディツアー反省会	2月5日(金)	足立会長 伊藤次長

【各県組織会長の交代】

	組織名	前任	新任・役職名等
1	宮城県青年海外協力隊を支援する会	高橋 強	富樫 千之 宮城大学食産業学部環境システム学科教授
2	茨城県青年海外協力隊を育てる会	中川 清	小川 一成 茨城県議会議員
3	愛媛県青年海外協力隊を育てる会	関 啓三	井上 善一 元瀬戸町長

【各県組織事務局長の交代】

	組織名	前任	新任・役職名等
1	宮城県青年海外協力隊を支援する会	菊地 喜正	星 英司 (公社) 青年海外協力協会 理事
2	三重県協力隊を育てる会	花井錬太郎	柴田 友美 (株) アスト 代表取締役
3	わかやま JICA ボランティア応援団	木村 経多	中島 紀生 (公財) 和歌山県国際交流協会 常務理事
4	香川県青年海外協力隊を育てる会	藤岡 龍生	松澤 友己 (株) 中央建物 監査役

6) 新春の集い・全国育てる会代表者会議の開催

①2016 年新春の集い・新春特別講演会

日 時 : 2016 年 1 月 25 日 (月) 14 : 00~17 : 00

場 所 : アジュール竹芝 13 階「飛鳥」

テーマ : 地域と世界の明日を担う「人づくり」のために
~50 年を迎えた青年海外協力隊事業の社会的役割とは~

参加数 : 90 名

【第 1 部】

「もう少し風からライオンを守ろうよ~協力隊を育てた 6 年~」

講師 : 平山征夫 (新潟国際情報大学長、元新潟県知事、
前にいがた青年海外協力隊を育てる会会長)



【第 2 部】

「共生社会の創造に向けての人材育成~国際人に求められる資質とは~」

講師 : 宮澤保夫 (星槎グループ代表、公益財団法人世界こども財団設立者)

②2016 年新春の集い・賀詞交歓会

日 時 : 同日 17 : 30 開場 / 18 : 00 開会 ~ 19 : 30

場 所 : アジュール竹芝 14 階「天平」

参加数 : 92 名

③2016 年全国育てる会代表者会議

日 時 : 2016 年 1 月 26 日 (火) 9 : 30~13 : 00

場 所 : アジュール竹芝 13 階「飛鳥」

対 象 : 全国育てる会会長、役員等

テーマ : 「地域創生に携わる帰国隊員への支援の在り方」

参加数 : 61 名



■全国育てる会の諸活動に対して側面支援を行う。

1) メーリングリストによる情報共有

- ①ボランティア事業の現況（毎月）
- ②JICA ボランティア関連のメディア情報（随時）
- ③JICA ボランティア事業の最新情報（随時）
- ④派遣隊員家族の連絡先等情報（年4回）
- ⑤入退会者情報（毎月）
- ⑥会員管理状況（会員管理委託組織のみ／随時）
- ⑦各県組織のイベント情報、各種会合の開催告知、表彰や訃報等の情報共有事項（随時）

2) 活動やイベント情報等の広報

- ①「クロスロード」発送時における資料同封（毎月）
- ②育てる会ニュースによる情報発信（毎月）
- ③facebook における情報発信（随時）
- ④メーリングリストによる情報提供（随時）
- ⑤Web ページによる情報発信（随時）

2. 青年海外協力隊 50 周年・育てる会 40 周年への取り組み

■青年海外協力隊発足 50 周年を記念した活動を展開した。

1) 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」の発行と販売

監 修：独立行政法人国際協力機構

編集協力：一般社団法人協力隊を育てる会

発 行：株式会社万葉舎

①普及版（ダイジェスト版）

仕 様：A4 判／180 ページ／フルカラー

価 格：2,160 円（税込／送料別）

※育てる会会員価格 2,000 円（税込／送料込）

発行日：11 月 17 日（火）

②詳細版（完全保存版）

仕 様：A4 判／360 ページ／フルカラー

価 格：4,860 円（税込／送料別）

発行日：2016 年 5 月中を予定



③英語版

仕 様：A4判/124ページ/フルカラー

価 格：2,700円（税込/送料別）

発行日：2016年5月中を予定

2) 全国育てる会による記念行事の開催

	組織名	日時・場所	事業名称
1	にいがた 青年海外協力隊 を育てる会	5月30日(土) じよいあす新潟会館	協力隊50周年記念講演会 「青年海外協力隊50周年と、これからの可能性」
2	北海道 青年海外協力隊を 育てる会	6月6日(土) JICA札幌	協力隊50周年記念報告会 「世界の途上国で半世紀、真心と汗で国際貢献する若き人材の情熱と魂～帰国隊員の夢を聴こう」
3	福井県 青年海外協力隊等を 支援する会	6月6日(土) 福井県国際交流会館	設立15周年&協力隊50周年記念 「福井から世界へ！ 青年海外協力隊297人の汗と涙そして笑顔」
4	熊本県 協力隊を育てる会	6月20日(土)～21日(日) 熊日びふれす広場	「協力隊50周年～ありがとうの軌跡～」
5	石川県 青年海外協力隊を 支援する会	7月3日(金) 県地場産業研修センター	設立20周年&協力隊50周年記念 「第26回開発教育全国集会：クローズアップ青年海外協力隊～北陸地域で活躍するOBOGたち～」
6	駒ヶ根 協力隊を育てる会	7月11日(土) 飯島町文化館大ホール	協力隊50周年記念特別企画 「幸せの国・ブータンとしかあわせ信州 ～押切もえと語る青年海外協力隊～」
7	宮崎県 青年海外協力隊を 支援する会	7月11日(土) ホテルひまわり荘	協力隊50周年記念特別講演会 「協力隊創設と50周年を迎えての新たな展望」
8	石川県 青年海外協力隊を 支援する会	8月 県内	協力隊50周年記念特別企画 県内小・中・高校への隊員活動DVD配布
9	徳島県 協力隊を育てる会	8月2日(日) 阿波観光ホテル	徳島モンゴル医療交流会設立記念 協力隊発足50周年記念特別イベント
10	鹿児島県 青年海外協力隊を 支援する会	8月29日(土) 鹿児島東急REIホテル	協力隊50周年記念 特別講演&パネルトーク、記念誌発行
11	にいがた 青年海外協力隊を 支援する会	8月30日(土) 新潟ユニゾンプラザ	協力隊50周年記念 「シンポジウム～世界から地域へ～」

	組織名	日時・場所	事業名称
12	石川県 青年海外協力隊を 支援する会	9月2日(火)～7日(月) カンボジア	協力隊50周年記念特別企画 スタディツアー
13	岡山県 協力隊を育てる会	9月5日(土)～ 11月8日(日) 岡山県生涯学習センター	協力隊50周年記念 「JICA ミニプラザ」
14	福島県 青年海外協力隊を 支援する会	9月12日(土) 郡山ビューホテル アネックス	協力隊創設50周年記念講演会及び祝賀会
15	福島県 青年海外協力隊を 支援する会	9月 郡山市内	協力隊50周年記念のぼりの市内設置
16	愛知県 青年海外協力隊を 支援する会	9月26日(土) なごや地球ひろば	協力隊まつり in 中部、協力隊50周年記念企画 中部ブロック開発教育集会「変わりつつある 世界、これからの協力隊に何を期待するか」
17	三重県 協力隊を育てる会	9月26日(土) なごや地球ひろば	協力隊まつり in 中部、協力隊50周年記念企画 協力隊活動紹介ブース出展
18	岐阜県 青年海外協力隊を 支援する会	9月26日(土) なごや地球ひろば	協力隊まつり in 中部、協力隊50周年記念企画 協力隊活動紹介ブース出展
19	駒ヶ根 協力隊を育てる会	9月27日(日) 駒ヶ根総合文化センター	第3回信州駒ヶ根ハーフマラソン
20	福岡県 青年海外協力隊を 支援する会	9月27日(日) ホテルセントラーザ博多	協力隊50周年記念式典&交流パーティー
21	びわ湖 JICA ボランティア 応援団	10月10日(土) 草津市立市民交流プラザ	協力隊50周年記念講演会 「双方向の草の根国際協力に期待して～JICA ボランティア50年のこれまでとこれから～」
22	宮崎県 青年海外協力隊を 支援する会	11月17日(火)	宮崎日日新聞への広告記事掲載
23	駒ヶ根 協力隊を育てる会	10月24日(土) 駒ヶ根高原美術館	協力隊50周年記念セミナー／「国際×地域× 若者～世界で、日本の地域で、活躍する人～」
24	愛媛県 青年海外協力隊を 育てる会	11月23日(月祝) 東京第一ホテル松山	「ひとりひとつの種をまいて50年～青年海 外協力隊～真戸原直人コンサート」 in 愛媛
25	(一社) 青年海外協力隊 プラザ・大阪	11月25日(水)～29日 (日) フィリピン	協力隊50周年記念スタディツアー

	組織名	日時・場所	事業名称
26	佐賀県 協力隊を育てる会	12月6日(日) 佐賀県商工ビル7階	協力隊50周年記念特別講演会「人づくりの 原点をたどる～末次一郎の描いた日本の未 来～」
27	鳥取県 協力隊を育てる会	12月13日(日) 鳥取大学広報センター	青年海外協力隊発足50周年を祝う会
28	協力隊を支援する やまがた 地球家族の会	1月18日(月) 県内	単行本「世界が舞台～活躍する山形県人～」 の発刊
29	JICA ボランティア を支援する いわての会	1月23日(土) ホテル東日本盛岡	青年海外協力隊発足50周年記念式典
30	岐阜県 青年海外協力隊を 支援する会	2月6日(土) 岐阜大学	岐阜県青年海外協力隊50周年記念行事 第27回開発教育全国集会 in 岐阜 ～「清流の国」の明日をひらく～
31	宮城県 青年海外協力隊を 支援する会	2月13日(土) せんだいメディアテーク グランテラス仙台国分町	青年海外協力隊発足50周年記念イベント、 記念祝賀会

3) 「青年海外協力隊発足50周年記念式典」への協力

日 時 : 11月17日(火) 10:00～
場 所 : パシフィコ横浜国立大ホール
主 催 : 独立行政法人国際協力機構
概 要 : 当日運営、事業広報等



4) 「青年海外協力隊発足50周年を祝う会」の開催

日 時 : 11月17日(火) 17:30～
場 所 : パシフィコ横浜会議センター3階 315号室
主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

参 加 : 全国育てる会役員、会員、支援者、JICA
など約200名

備 考 : 全国育てる会に対し JICA より記念盾の授与あり。



5) 映画「クロスロード」製作・広報・鑑賞への協力

製作協力: 協賛金の拠出(エンドロールにクレジット)

広報協力: 育てる会ニュース、Web、facebook での広報宣伝、会員・支援者へのチラシ配布

鑑賞協力: 前売り券購入、全国育てる会への上映情報発信、鑑賞協力依頼

3. 会員拡大と財政基盤の強化

- 「内から外へ」を合言葉に他団体との連携を広げ、会員及び事業拡大に繋げた。

1) 会員状況

	昨年度 3 月末	今年度 3 月末
個人会員	526 名	526 名
団体会員	105 団体	108 団体
法人会員	38 法人	35 法人
全国育てる会会員数	3,526 名 (法人団体含む)	3,606 名 (法人団体含む)

2) 日本青年会議所、連合、経営者協会等、経済団体との協働

①第 86 回メーデー中央大会

- 主 催 : 連合第 86 回メーデー中央大会実行委員会
 日 時 : 4 月 29 日 (水祝) 10 : 00 ~ 14 : 30
 場 所 : 代々木公園
 概 要 : 民族衣装の試着、帰国隊員による特産品の販売、
 JICA ボランティア春募集の広報等。



②2016 年度日本青年会議所京都会議

- 主 催 : 公益社団法人日本青年会議所
 日 時 : 2016 年 1 月 22 日 (金) ~ 24 日 (日)
 場 所 : 国立京都国際会館
 概 要 : JICA 民間連携ボランティア事業に関する企業セミナー
 の開催、広報ブースの出展等。



3) ライオンズクラブ、ロータリークラブ等、NPO/NGO 団体との協働

①ネパール地震復興支援街頭募金

- 主 催 : 都内 15 のライオンズクラブ有志
 日 時 : 5 月 17 日 (日)、24 日 (日) 13 : 00 ~ 16 : 30
 場 所 : 数寄屋橋交番前
 募金額 : 360,000 円
 支援先 : 半田好男 OB (3-1 / ネパール / 理数科教師) の設立した
 現地 NGO 「ディーヨ・フォーラム」の実施する山間部の
 学生寮再建



②協力隊まつり 2015 へのブース出展

主 催 : 協力隊まつり実行委員会
日 時 : 4月11日(土)~12日(日) 10:00~17:00
場 所 : JICA 市ヶ谷
概 要 : 帰国隊員による特産品販売、事業広報等。

③地域の催事へのブース出展

主 催 : 文京区小石川・表町町会
日 時 : 9月12日(土)~13日(日) 9:00~16:00
場 所 : 傳通院参道
概 要 : エスニック料理販売を通じた児童や学生への異文化理解、民俗衣装試着等。



④グローバルフェスタ 2015 へのブース出展

主 催 : グローバルフェスタ JAPAN2015 実行委員会
日 時 : 10月3日(土)~4日(日) 10:00~17:00
場 所 : お台場センタープロムナード
概 要 : 帰国隊員による特産品販売、カレンダー販売等。



⑤日比谷公園ガーデニングショー2015 へのブース出展

主 催 : 日比谷公園ガーデニングショー2015 実行委員会事務局
紹 介 : 東京荒川西ライオンズクラブ
日 時 : 10月21日(水) 9:00~16:00
場 所 : 日比谷公園
概 要 : 帰国隊員による特産品販売、カレンダー販売、JICA ボランティア秋募集の広報尚。

4) スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム等、スポーツ関連団体との協働

①「障害者スポーツ振興とパラリンピック」講演会の協力

主 催 : Whats 交流会(都内ライオンズクラブ有志勉強会)
日 時 : 8月24日(月) 18:30~21:00
場 所 : 主婦会館プラザエフ
講 師 : 高田朋枝氏(北京パラリンピック・ゴールボール代表選手)
概 要 : 障害者スポーツとパラリンピアンとの現状と課題、2020年パラリンピックへの展望や期待等について意見交換。

5) 教育機関等との協働

①SEISA Africa Asia Bridge 2015 への参加

主 催 : SEISA Africa Asia Bridge 2015 実行員会、公益
財団法人世界こども財団、学校法人国際学園ほか

日 時 : 11月15日(日) 10:00~16:00

場 所 : 星槎中学高等学校

概 要 : 「アフリカを知る・感じる・考える」イベントでの

帰国隊員による特産品販売、カレンダー販売、JICA ボランティア事業の広報

等。



②文部科学省「土曜日学習応援団」、「地域力強化プラン」への協力

各道府県にて開催される関連イベント情報を全国育てる会に発信(随時)

■サポート事業(就活・婚活・終活)を起爆剤として会員及び事業拡大に繋げた。

1) 帰国隊員の人材紹介

就職を希望する帰国隊員に対しカウンセリングを行い、転職・再就職を支援した。

①帰国隊員に対するカウンセリング

求職件数: 21 件

カウンセリング数: 15 件(平均年齢 34.4 歳/男女比 5:10)

②広報活動

- ・メールリスト、Web、facebook による情報発信(随時)
- ・ボランティアの帰国時オリエンテーションにて案内(年 4 回)

2) 帰国隊員の婚活支援

結婚を希望する帰国隊員を中心に、以下のとおりイベントを開催した。

①「婚活タイ料理教室」

日 時 : 10月24日(土) 14:00~16:00

場 所 : セシオン杉並

参加人数: 25 名(女性 12 名、男性 13 名)

スタッフ 5 名(先生含む)

備 考 : 参加者有志によるアフター会を後日実施



3) 福利厚生サービスの普及

帰国隊員に3ヶ月ごとにダイレクトメールにて案内を発送した。

■ 帰国隊員が関わる事業の紹介を通じて会員及び事業拡大に繋げた。

1) イベントにおける「GLOBAL SPROUT」掲載商品の販売

イベント名	協力隊まつり 2015	第 86 回メーデー 中央大会実行委員会	協力隊を育てる会 第 40 回総会
日時	4月 11 日(土)～12 日(日)	4月 29 日(水祝)	5月 27 日(水)
場所	JICA 地球ひろば	代々木公園	JICA 地球ひろば
販売額	3,880 円	840 円	21,980 円
イベント名	家族交流会	グローバルフェスタ	日比谷公園ガーデ ニングショー2015
日時	6月 15 日(月)	10月 3 日(土)～4 日(日)	10月 21 日(水)
場所	JICA 地球ひろば	お台場プロムナード	日比谷公園
販売額	12,800 円	50,800 円	17,460 円
イベント名	SEISA Africa・Asia Bridge 2015	青年海外協力隊設立 50 周年式典	
日時	11月 15 日(日)	11月 17 日(火)	
場所	星槎中学高等学校	パシフィコ横浜	
販売額	27,430 円	75,350 円	

2) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

販売実績：369 個（2015 年 4 月～2016 年 3 月）

販売内訳：結婚式引出物 4 件

50 周年記念誌作成協力のお礼：50 個

クラウドファンディングリターン：38 個



3) クラウドファンディングの実施

目的：カタログ掲載商品数のアップデート費用を捻出するとともに、イベントがなければ手に取りづらいカタログギフトを広報するため。

期間：10月 5 日(月)～11月 20 日(金)

結果：支援者 43 名／支援金額 405,000 円（目標に対して 54%）

支援者：育てる会関係者 18.6%、関連企業 14.0%、カタログ掲載者 14.0%、OBOG 23.3%、その他 30.2%

4) 帰国隊員が関わる事業の発掘および紹介

Web での広報 (http://www.sojocv.or.jp/mbr_support/homecoming/shop/)

掲載ショップ：67 件（2016 年 3 月末時点）

■従来の事業ノウハウを活かして財政基盤強化に繋げるべく、JICA をはじめ他省庁の公示案件に入札した。

1) 海外研修事業

①「平成 27 年度海外派遣研修」事業

発注者：独立行政法人環境再生保全機構

業務：環境保全を志す学生及び NGO を対象とした海外研修の企画運営

企画国：ミクロネシア

結果：落札できず

②「2015 年大学生フィールド・スタディ・プログラム運営事務局」業務

発注者：独立行政法人国際協力機構

業務：日本大学生のグローバル人材育成を目的としたアジアでのフィールドスタディ演習

企画国：タイ、ラオス（2ヶ国）

結果：落札できず

2) その他事業

①「JICA ボランティア事業広報記事作成」業務

発注者：独立行政法人国際協力機構

業務：JICA ボランティアに対する興味、関心を拡大させるための WEB サイト作成

結果：落札できず

【理解促進事業】

1) 開発教育全国集会

協力隊事業を通じた国際理解と人材育成、ならびに協力隊経験の社会還元を広く市民に周知する場として開催した。

①第 26 回開発教育全国集会「クローズアップ青年海外協力隊～北陸地域で活躍する OB・OG たち～」

日時：7 月 3 日（金）15：30～17：30

場所：石川県地場産業振興センター新館コンベンションホール

主催：石川県青年海外協力隊を支援する会

テーマ：「クローズアップ青年海外協力隊～北陸地域で活躍する OB・OG たち～」

- 概要 : 隊員 OBOG らによるパネルディスカッション
 参加 : 関東甲信越、東海、北陸、近畿ブロックの育てる会関係者など約 150 名
 備考 : 石川県青年海外協力隊を支援する会設立 20 周年記念式典、ブロック懇談会を併催



②開発教育中部ブロック大会

「変わりつつある世界、これからの青年海外協力隊に何を期待するか」

- 日時 : 9月26日(土) 16:00~18:00
 場所 : なごや地球ひろば
 主催 : 愛知県青年海外協力隊を支援する会
 テーマ : 「これからの青年海外協力隊に何を期待するか」
 参加 : 中部ブロックの育てる会関係者など約 100
 備考 : 「協力隊まつり in 中部」の青年海外協力隊 50 周年記念シンポジウムとして開催



③第 27 回開発教育全国集会 in 岐阜～「清流の国」の明日をひらく

- 日時 : 2016 年 2 月 6 日 (土) 13:00~17:30
 場所 : 岐阜大学講堂
 主催 : 岐阜県青年海外協力隊を支援する会、JICA ボランティア岐阜県 OV 会
 テーマ : 「清流の国」の明日をひらく人づくり
 概要 : コンサートステージとパネルトークの 2 部立て
 【第 1 部】地球のステージ～協力隊 50 周年記念版～
 講師 : 桑山紀彦氏
 【第 2 部】協力隊 OBOG パネルトーク
 講師 : 岐阜県出身協力隊 OBOG
 参加 : 県内学生や社会人、近隣の育てる会組織役員など約 130 名
 備考 : 青年海外協力隊 50 周年イベントとして併催



2) 家族交流会・帰国報告会

協力隊事業の理解普及を目的に、協力隊家族をはじめ将来協力隊参加を志す学生、また社会貢献団体などを対象に帰国隊員の活動報告会を企画、開催した。

①協力隊を育てる会「家族交流会」の開催

- 日時 : 6月15日(月) 18:00~20:30
 場所 : JICA 市ヶ谷



主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会
 対 象 : 協力隊家族、視察の旅参加希望者
 テーマ : 「隊員に会いに行こう！現地の生活を知りたい、訪問したい家族のための
 説明会」

参 加 : 59 名

②帰国報告会への講師派遣

日 時 : 2016 年 1 月 29 日 (金) 16 : 20~17 : 50
 場 所 : 酪農学園大学 C1 号館 202 教室
 主 催 : 酪農学園大学環境共生学類
 対 象 : 酪農学園大学学生
 テーマ : 「海外で働くということ」
 講 師 : 清水職員 (23-4/ベトナム/環境教育)



③市民フォーラムへの講師派遣

日 時 : 2016 年 1 月 30 日 (土) 13 : 30~17 : 00
 場 所 : JICA 北海道
 主 催 : 北海道青年海外協力隊を育てる会
 対 象 : 学生、社会人等
 テーマ : 「青年海外協力隊 帰国後の進路」
 講 師 : 清水職員 (23-4/ベトナム/環境教育)



③協力隊員による寄稿の斡旋

掲載紙 : FEC NEWS (月一回発行)
 発 行 : 民間外交推進協会
 テーマ : 協力隊に見る日本の若者の姿
 内 容 : 現地活動や生活、協力隊活動を通じた異文化理解、人的成長等の紹介
 掲 載 : セネガル、ベトナム、ラオス、ドミニカ共和国、ガーナ、PNG、ヨルダン、ネパール、ブルキナファソ、パラグアイ、トンガの各国派遣OBOGが原稿執筆

3) 「視察の旅」の企画・実施

協力隊員のご家族に現地の活動を視察していただくことで、協力隊事業の理解者を増やすとともに支

援の輪を広げた。

企画国 : 31 ケ国
 実 施 : 10 ケ国/76 名



国名	期間	参加人数
ザンビア	8月24日(月)～9月3日(木)	9名
ウガンダ	8月25日(火)～9月3日(木)	4名
ホンジュラス	9月2日(水)～9月12日(土)	6名
ボリビア	9月2日(水)～9月12日(土)	5名
マラウイ	11月1日(日)～11月11日(水)	11名
セネガル	11月1日(日)～11月10日(火)	7名
ラオス	11月5日(木)～11月13日(金)	9名
ベナン	11月8日(日)～11月18日(水)	5名
ヨルダン	11月16日(月)～11月25日(水)	10名
タンザニア	2016年2月15日(月)～24日(水)	10名

4) スタディツアーの企画・実施

学生や社会人を対象に、現地の活動視察を通じて協力隊事業をはじめ異文化・国際協力の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げることを目的に企画・実施した。

①一般向けスタディツアー

- 主催：一般社団法人協力隊を育てる会
 対象：全国の支援者、一般の参加希望者
 期間：2016年1月10日(日)～16日(土)
 場所：マレーシア(クアラルンプール、コタキナバル)
 参加：20名
 概要：協力隊員の活動現場視察のほか、協力隊50周年記念イベントへの参加等。



②学生向けスタディツアー「山形県庄内町青少年育成事業」

- 主催：庄内町青少年海外研修事業実行委員会
 対象：山形県庄内町の中学生・高校生
 期間：12月21日(月)～26日(土)
 場所：マレーシア(コタキナバル)
 目的：庄内町の未来を担う青少年を海外に派遣し、外国での生活体験、人々との交流等を通じて、広い視野と国際感覚を兼ね備えた人材の育成を図る。
 参加：18名(高校生5名、中学生10名、引率3名)
 概要：協力隊員2名の活動現場視察、環境保全に関わるNGOでのワークショップ等。



5) 訓練所視察会の企画・実施

JICAの「訓練所から世界が見える」訪問プログラムを活用し、グローバル人材や異文化・国際理解教育などに関心のある企業や教育機関を対象に、JICA 二本松または訓練所の体験視察会を企画・実施した。

① 学生向け訓練所視察会

主 催 : 日本外国語専門学校
 対 象 : 日本外国語専門学校の学生
 期 間 : 2016年1月29日(金)～30日(土)
 場 所 : JICA 二本松訓練所
 目 的 : 海外ボランティアをはじめとする国際協力活動への関心を高め、将来を考える。



参 加 : 45名(学生42名、引率3名)

概 要 : 訓練体験や異文化理解ワークショップ、東日本大震災復興支援現場への訪問等。

6) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から写真を提供いただき、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツールとして制作・販売した。

テーマ : 持続する情熱
 仕 様 : A4横／フルカラー／14枚綴り(28P)／オリジナル名入れ・メッセージ印字
 制作数 : 13,000部
 制 作 : 5月～8月
 価 格 : 1部1,000円(税込)
 会員価格1部700円
 多部購入1部500円
 販売数 : 約11,000部



【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援した。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、青年海外協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高めた。

支援金額 : 1件につき上限300,000円

申請件数 : 13件

支援件数 : 11件(支援不可1件、申請取り下げ1件)

支援総額：2,732,809 円

審査方法：申請毎に審査員による書類審査

審査：審査員長 > 松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）

審査員 > 宮崎幸雄（同顧問）、土井 章（同理事）

【小さなハートプロジェクト支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	出身 県名	送金 日	プロジェクト名	支援額 （円）	支援者名
1	平山絵梨（25-2） 保健師 ジブチ	福岡	4/30	コーヒー発祥の地で学ぶ子供たちの教育現場を改善しよう	248,111	福岡県支援する会・東京ロータリークラブ ほか
2	山口まどか（26-1） 防災・災害対策 エルサルバドル	兵庫	7/29	ゴミの分別から環境を学ぶ！学校にリサイクルボックスを設置しよう！	242,293	石川県立金沢二水高校・電力総連・兵庫県 OB 会
3	松田沙弥香（25-3） 青少年活動 ケニア	千葉	7/29	児童拘置所の子どもたちに希望を与える図書室を！	213,192	千葉県育てる会・電力総連・チャリティゴルフ ほか
4	鯉淵智江（25-4） コミュニティ開発 カメルーン	茨城	7/29	水道拡張プロジェクト～村と学校に安全な水を引こう～	283,226	茨城県育てる会・チャリティゴルフ・チン道代
5	増田竜馬（25-4） 環境教育 バヌアツ	静岡	9/25	未亡人／シングルマザーによるドレス作成プロジェクト	298,596	ソロプチミスト東京山の手・電力総連
6	前田智帆（26-2） コミュニティ開発 セネガル	兵庫	10/30	ンドファン私立第一小学校トイレ修繕プロジェクト	150,900	チャリティゴルフ・兵庫県 OB 会・福島香織
7	大谷可菜子（26-1） エイズ対策 ガーナ	宮城	10/30	Voltahome で暮らす子どもたちに、ぐっすり眠れる場所を！～孤児院増築～	300,000	宮城県支援する会・足利市ボランティア協会
8	江田康子（25-3） コミュニティ開発 ブルキナファソ	埼玉	11/24	カルクルゲン村の子どもたちに衛生的な環境を！小学校トイレ建設・修復	220,716	埼玉県育てる会・電力総連
9	澁谷道嗣（26-1） 教育行政・学校運営 セネガル	埼玉	11/24	クンゲル市フランコ＝アラブ小学校トイレ設置プロジェクト	182,683	埼玉県育てる会・電力総連
10	北川友貴（26-2） 理学療法士 モンゴル	神奈川	-	心臓・脳血管リハビリテーションのためのリハビリテーション室の改修	-	支援不可（本来業務とみなされるため）
11	杉山結理（26-2） 助産師 ベナン	北海道	3/23	村人にもっと身近な水資源を！給水塔式井戸建設	294,828	北海道育てる会・電力総連・アサヒワンビールクラブ

	氏名(隊次) 職種 派遣国	出身 県名	送金 日	プロジェクト名	支援額 (円)	支援者名
12	竹原由美子(26-2) 助産師 エルサルバドル	鹿児島	3/23	ヒロンにトイレを作ろう! 建設地域住民と一緒にトイレ レタンク・フィルター	298,264	チャリティゴルフ・半田貴基
13	佐橋良子(26-2) コミュニティ開発 エルサルバドル	愛知	-	食育推進のために、学校に農 園を設置しよう!	-	申請取り下げ(他の プロジェクトを申 請)
支援総額					2,732,809 円	

2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災の復興支援活動をはじめ、その経験をもとに地域活性化等に取り組む帰国隊員の活動に対し支援を行った。

支援金額：1 件につき上限 300,000 円

申請件数：1 件

支援件数：1 件

支援総額：300,000 円

審査方法：申請毎に審査員による書類審査

審査：審査員長 ▶松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）

審査員 ▶土井 章（同理事）、小川一成（同参与）

【小さなハート基金支援一覧】

	氏名(隊次) 職種 派遣国	プロジェクト名(実施県)	実施団体等	支援額(円)
1	田中紗和子(23-1) 作業療法士 ニカラグア	「心も身体もほっかほかだ～」 プロジェクト(福島県)	JOCV リハビリテーション ネットワーク	300,000
支援総額				300,000 円

3) 帰国隊員/青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の助成のもと、帰国隊員の国際協力活動等を支援した。

募集期間：7月1日(火)～8月31日(日)

支援金額：1 案件につき上限 500,000 円

申請件数：25 件(協力活動 9 件、調査研究 16 件)

支援件数：8 件(協力活動 5 件、調査研究 3 件)

支援総額：2,700,000 円

選考時期：選考委員会を 10 月 9 日(木)に開催 於 JICA 地球ひろば

選考委員：委員長 ▶松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）
 委員 ▶小沢良明（公益財団法人三菱 UFJ 国際財団専務理事）
 三次啓都（JICA 青年海外協力隊事務局審議役）
 宮崎幸雄（一般社団法人協力隊を育てる会顧問）
 土井 章（同理事）
 小川一成（同参与）

【帰国隊員/青年支援プロジェクト支援一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	プロジェクト名	対象活動	支援額（円）
1	東村まゆみ(25-1) 作業療法士 タイ	モンゴル西部地域 障害児のためのシーティングセミナー	協力活動	450,000
2	町井恵理(18-0) 感染症対策 ニジェール	日本発祥「富山の置き薬」システムを用いてアフリカ農村部の人々へ医薬品を届ける事業活動	協力活動	450,000
3	木原由里子(14-1) 理学療法士 ネパール	大地震後のネパールにおける災害リハビリテーション支援活動	協力活動	340,000
4	徳島 泰(24-1) デザイン フィリピン	開発途上国用3Dプリント義足製作ソリューション開発のための調査研究	調査研究	370,000
5	佐藤千歳(17-1) 臨床検査技師 モザンビーク	災害医療検査部門における生化学分析機器の科学的考察－国内および海外災害に備えて－	調査研究	370,000
6	田中涼子(24-1) 小学校教員 カンボジア	カンボジア初等教員の主体性形成に関する研究－体育科の実践を中心に－	調査研究	370,000
7	田村雅文(17-1) 環境教育 シリア	紛争下における人々のライフヒストリー調査－シリア国内及び周辺国に逃れたシリア人を事例として－	調査研究	250,000
8	及川千夏(24-4) 村落開発普及員 ルワンダ	ルワンダ東部のコミュニティベースの健康保険加入に関連する要因研究：世帯間と世帯内の加入パターンに着目して	調査研究	100,000
支援総額				2,700,000 円

4) 馬場医療・福祉奨学金（返済義務あり）

医療・福祉分野への就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付し支援した。

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

支援金額：1件につき上限 500,000 円（原則 2 名まで）

申請件数：2 件

支援件数：2 件

支援総額：1,000,000 円

選考時期：選考委員会を帰国隊員・青年支援プロジェクトと併せて開催

選考委員：委員長▶松岡和久（一般社団法人協力隊を育てる会常任理事）

委員▶宮崎幸雄（同顧問）、土井 章（同理事）、小川一成（同参与）

【馬場医療・福祉奨学金給付者一覧】

	氏名（隊次） 職種 派遣国	修学先名	支援額（円）
1	光廣直貴（24-1） 獣医衛生 ウガンダ	鹿児島大学医学部医学科における修学	500,000
2	浅利定栄（22-3） 看護師 パラグアイ	食科学大学（イタリア）修士課程における修学	500,000
支援総額			1,000,000 円

5) 地域の育てる会活動助成

地域の育てる会が実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対し、助成金を給付した。

支援金額：1 組織につき上限 80,000 円

支援件数：42 件

給付時期：2016 年 2 月末

給付総額：3,335,000 円

対象事業：以下の 3 事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動

6) 「高木守道と小さなハートチャリティゴルフ」の共催

協力隊事業と当会活動の理解普及を図るとともに、ゴルフおよびオークションによる収益を「小さなハートプロジェクト」等に活用することを目的に、実行委員会によるチャリティゴルフ大会を共同開催した。

共 催：ぎふ美濃ゴルフ倶楽部、全日本自動車産業労働組合総連合会愛知地方協議会、一般社団法人協力隊を育てる会

日 時 : 10月29日(木)
場 所 : ぎふ美濃ゴルフ倶楽部
寄付金 : 649,350円
参 加 : 足立会長、内島職員



【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ「情報ツール」として、育てる会の活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数 : 7,500部/毎月
仕 様 : モノクロ/タブロイド判/4ページ
構 成 : 1面～最新トピックス、協力隊を育てた人たち(2015年2月～10月)
2面～国際協力時評、各県組織関連
3面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報
4面～各種インフォメーション

別 冊 : 「視察の旅」参加者を呼びかけるため「視察の旅別冊号」を発行(5月)

【主要記事一覧】

月号	国際協力時評など	主な記事
4月	協力隊を育てた人たち「末次一郎」③	奈良 JICA ボランティア応援団設立
5月	協力隊を育てた人たち「寒河江善秋」① 吹浦忠正(社団参与)	メーデー中央大会への参加 小さなハートプロジェクト特集
6月	協力隊を育てた人たち「寒河江善秋」②	第40回通常総会報告・岩國哲人氏の講演要旨
7月	協力隊を育てた人たち「寒河江善秋」③	石川県支援する会20周年記念式典
8月	協力隊を育てた人たち「伴正一」① 小川一成(茨城県育てる会会長)	全国で協力隊50周年記念行事が開催 石川県開発教育全国集会
9月	協力隊を育てた人たち「伴正一」② 平井誠一(京都府応援団会長)	京都府 JICA ボランティア応援団設立 帰国隊員が書いた書籍特集
10月	協力隊を育てた人たち「伴正一」③ 西野瑞穂(徳島県育てる会理事)	協力隊50周年記念誌「持続する情熱」発売開始 国際結婚特集

月号	国際協力時評など	主な記事
11月	富樫千之（宮城県支援する会会長）	JICA 理事長表彰受賞 支援事業結果報告
12月	協力隊発足 50 周年記念式典・祝う会	
1月	北岡伸一(JICA 新理事長)と足立会長の新春挨拶	新春鼎談 黒柳俊之(前 JICA 理事)／伊藤隆文(海外協力隊事務局長)／足立会長
2月	藤井克己（いわての会会長）	新春を祝う会、いわて支援する会設立 各県代表者会議、庄内町青少年海外研修事業
3月	宮澤保夫（神奈川支援協会会長）	神奈川県支援協会設立 マレーシアスタディツアー報告

2) 「協力隊を育てる会ニュース」を通じた帰国後研修の促進

帰国隊員のキャリアアップに繋げるべく、資格取得の推奨や研修申込の仲介等を行った。

①防災士研修（株式会社防災士研修センターと連携）

申込件数：4 件

②PCM 研修（アイ・シー・ネット株式会社と連携）

申込件数：1 件

③社会企業・市民活動・政策提言セミナー（NPO 法人一新塾と連携）

申込件数：2 件

3) Web や facebook による情報提供

育てる会活動を広く周知するため、Web や facebook を活用した広報を更に充実させた。

①全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告など）の提供

②帰国隊員が関わる事業やその商品情報の提供

③各種支援情報の提供

➤Web での広報 (<http://www.sojocv.or.jp/>)

・ページビュー 1 ヶ月平均 8,430

・ユーザ数 1 ヶ月平均 1,680

➤facebook での広報 (<https://www.facebook.com/sojocv>)

・いいね数 711 (昨年同時期：358)



また、カタログギフト「GLOBAL SPROUT」のブランドを広く周知するため、Web や facebook を活用した広報を更に充実させた。

①ブランド「GLOBAL SPROUT」の紹介

②取扱い商品や生産者の紹介

③イベント等での出店情報の紹介

➢Webでの広報 (<http://www.global-sprout.com/>)

・ページビュー 1ヶ月平均 2,590

・ユーザ数 1ヶ月平均 785

➢facebookでの広報 (<https://www.facebook.com/globalsprout/>)

・いいね数 488



4) メーリングリストによる情報収集

派遣中隊員と帰国隊員に対し以下の情報収集をメーリングリストによって実施した。

①カレンダー写真の募集

②帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集

③人材紹介事業の登録者募集

④各県組織からの情報提供

⑤会員団体からの情報提供

【受託事業】

1) JICA 受託事業の実施

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、育てる会活動とも密接な関わりを持つ受託業務を遂行した。

①2015～2017 年度 JICA ボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集・発行

【通常号】

毎月 15 日発行×年 12 号

【増刊号】

年 3 号 (応募者関心層向け／OBOG 向け／サポーター向け)

【合本】

年 1 回 (15 号分)



②2015～2017 年度 JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)

業務 : 帰国隊員情報の事務管理および現職参加促進

【帰国隊員情報の事務管理】

- 各種支援制度、証明書発行の事務手続き
- 進路相談カウンセラー業務の補助
- 帰国隊員個人情報、進路希望調査票等のデータ管理
- 法人団体等からの求人情報管理
- 現職参加促進に向けた啓発及び調査、データ管理

【経済団体・民間企業等に対するボランティア事業の理解促進】

➢ 首都圏民間企業向けセミナー開催

- ・ 2016 年度京都会議 公開委員会「UN・SDGs 勉強会」

主催 : 公益社団法人日本青年会議所

日時 : 2016 年 1 月 22 日 (金) ～24 日 (日)

場所 : 国立京都国際会館

参加 : 220 名

- ・ 日本 JC シニアクラブ第 73 回会員総会

主催 : 日本 JC シニアクラブ

日時 : 2016 年 3 月 11 日 (金)

15 : 30～19 : 30

場所 : 東京プリンスホテル

参加 : 440 名

➢ 中部および近畿圏等民間企業セミナー開催

- ・ 「グローバル人材セミナー～人材リソースとしての JICA ボランティア～」

主催 : 奈良 JICA ボランティア応援団、JICA

日時 : 12 月 2 日 (木) 13 : 00～15 : 30

場所 : 株式会社明新社

参加 : 6 法人

- ・ 「グローバル人材セミナー～人材リソースとしての JICA ボランティア～」

主催 : 京都府 JICA ボランティア応援団、JICA

日時 : 2016 年 3 月 14 日 (月) 16 : 00～18 : 00

場所 : 京つけもの西利本社

参加 : 19 法人



【現職参加調査業務】

▶ 実践企業に対し制度の課題や帰国隊員の活用等について聞き取り調査

- ・ 民間連携ボランティア制度の活用企業

対象：6 法人（首都圏のみ）

実施：2 法人

- ・ 現職参加制度の活用企業

対象：13 法人（首都圏のみ）

実施：4 法人

【現職参加相談業務】

▶ 二次選考会場における現職参加希望者向けの相談

- ・ 春募集

日時：6 月 26 日（金）～7 月 3 日（金）の平日 6 日間

場所：JBIC ビル

件数：62 件

内容：現職参加制度の説明、所属先との折衝方法、よろず相談

- ・ 秋募集

日時：2016 年 1 月 5 日（火）～12 日（火）の平日 6 日間

場所：ホテル・グリーンパレス

件数：111 件

内容：現職参加制度の説明、所属先との折衝方法、帰国後進路相談

▶ 現職参加希望者の所属先団体に対する制度説明

- ・ 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

日時：2016 年 2 月 8 日（月）16：00～17：00

内容：制度概要、人件費補填の説明

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確な組織運営ならびに事業活動を推進するため、各種会議などを開催した。

① 第 40 回通常総会

日 時：5 月 27 日（水）14：00～19：30

場 所：JICA 市ヶ谷国際会議場

概 要：以下の 3 部構成

【第 1 部】通常総会（14：00～16：00）

概要：平成 26 年度事業・決算報告

平成 27 年度事業計画・収支予算、役員に関する議案を承認

参加：62 名

【第 2 部】特別講演会（16：00～17：30）

講師：岩國哲人（元衆議院議員、元島根県出雲市長）

演目：「世界の潮流、日本のうねり

～青年海外協力隊への期待～」

参加：108 名

【第 3 部】交流会（18：00～19：30）

来賓：三原朝彦（衆議院議員）

参加：113 名



②理事会

以下のとおり開催した。

回	日時	場所	議題
第 1 回	5 月 13 日 (水) 17：00～19：00	JICA 市ヶ谷	平成 26 年度活動報告・決算報告（案） 第 40 回通常総会について
第 2 回	12 月 16 日 (水) 15：00～17：00	TKP 市ヶ谷	平成 27 年度上半期報告 平成 27 年度下半期計画 等
第 3 回	2016 年 3 月 16 日 (水) 17：30～19：30	JICA 市ヶ谷	平成 28 年度事業計画・収支予算（案） 平成 27 年度下半期報告 等

③常任理事会

以下のとおり開催した。

期	日時	場所	期	日時	場所
4 月	4 月 16 日 (木) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷	9 月	9 月 17 日 (木) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷
5 月	5 月 13 日 (水) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷	11 月	11 月 12 日 (木) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷
6 月	6 月 18 日 (木) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷	12 月	12 月 10 日 (木) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷
7 月	6 月 16 日 (水) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷	2 月	2016 年 2 月 17 日 (水) 15：00～17：00	ルノアール 会議室
8 月	8 月 20 日 (木) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷	3 月	2016 年 3 月 9 日 (水) 15：00～17：00	JICA 市ヶ谷

④委員会

各助成事業の審査委員会等と併催し支援委員会を開催した。

⑤顧問・参与会議

以下のとおり開催した。

回	日時	場所	議題
第1回	9月17日(木) 17:00~19:00	ホテルグランドヒ ル市ヶ谷	育てる会の活動について 協力隊50周年、育てる会40周年について
第2回	12月16日(水) 17:00~19:00	TKP市ヶ谷	協力隊事業の今後の展望について

2) 公的資格の取得

プライバシーマークを更新申請した。

申請書類の提出：5月25日(月)

現地審査の実施：8月10日(月)

改善報告書提出：11月16日(月)

再指摘に伴う保護方針の一部改訂：12月16日(水)

再指摘事項の改善報告提出：12月18日(水)

プライバシーマーク付与適格決定：2016年2月1日(火)

登録番号：第10861475(05)号

有効期間：平成27年10月3日~平成29年10月2日

3) 派遣隊員へのガイダンス

訓練中の協力隊員をはじめとする JICA ボランティアに対し、育てる会活動のガイダンスを行うとともに個人情報提供を依頼した。

隊次	訓練所	実施日	担当者
平成27年度1次隊	二本松	4月28日(火)	富岡職員
	駒ヶ根	4月29日(水)	内島職員
平成27年度2次隊	二本松	7月28日(火)	富岡職員
	駒ヶ根	7月23日(木)	内島職員
平成27年度3次隊	二本松	10月23日(金)	内島職員
	駒ヶ根	10月22日(木)	富岡職員
平成27年度4次隊	二本松	2016年2月5日(金)	藤澤職員
	駒ヶ根	2016年2月22日(月)	内島職員

4) 帰国隊員へのオリエンテーション

帰国した協力隊員をはじめとするボランティアに対し、育てる会活動のオリエンテーションを行うとともにメールアドレス等の提供を依頼した。

隊次	実施日	担当者
平成 24 年度 4 次隊	3 月 23 日 (月) ~30 日 (月)	内島・藤澤職員
平成 25 年度 1 次隊	6 月 25 日 (木) ~7 月 8 日 (水)	内島・藤澤職員
平成 25 年度 2 次隊	9 月 30 日 (水) ~10 月 8 日 (木)	内島・藤澤職員
平成 25 年度 3 次隊	2016 年 1 月 6 日 (水) ~14 日 (木)	内島・藤澤・清水職員

5) 各種表彰

①春の叙勲

➤受賞者 : 高木剛 (元日本労働組合総連合会会長・元社団法人協力隊を育てる会理事)

賞名 : 旭日大綬章

➤受賞者 : 須佐喜夫 (福島県青年海外協力隊を支援する会会長)

賞名 : 旭日双光章

②秋の叙勲

➤受章者 : 齋藤富雄 (JICA 海外ボランティアひょうご応援団会長)

賞名 : 瑞宝中綬章

③第 11 回 JICA 理事長表彰

➤受賞 : 一般社団法人協力隊を育てる会

公益社団法人青年海外協力協会

公益財団法人海外日系人協会

賞名 : JICA 国際協力感謝賞 (団体の部)

④その他

➤受賞 : 北海道青年海外協力隊を育てる会

賞名 : 平成 27 年度北海道社会貢献賞 (国際協力功労者)

➤受賞 : 石川県青年海外協力隊を支援する会

賞名 : 平成 27 年度石川県国際交流・協力功労者表彰

➤受賞 : 広島県青年海外協力隊を育てる会

賞名 : 公益財団法人ヒロシマ平和創造基金第 18 回 (2015 年度) 国際交流奨励賞



6) 慶弔関係

ご逝去

- ①南部 悟様（北海道青年海外協力隊を育てる会前会長／北海道大学名誉教授／享年 86 歳）
- ②原田三男様（熊本県協力隊を育てる会事務局長／バングラデシュ OB／享年 62 歳）
- ③相磯照男様（青遺海の会前会長／享年 89 歳）

7) 人事関係

- ①採用：なし
- ②退職：平井美里（事業部・嘱託職員・11月30日付）

以上

【平成 27 年度事業報告附属明細書について】

平成 27 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

平成 28 年度事業計画

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

1976 年の設立以来、民間の立場から青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業を支援してきた当会は、今年で設立 40 周年を迎えます。

10 年前からスタートした足立会長体制では、「協力隊は日本の宝、育てて活かす社会をつくる」をスローガンに掲げ、日本全国で支援の輪を広げる為に育てる会の全国組織化を目指して参りました。この目標は、今年 2 月 13 日に神奈川県にて組織が設立されたことにより達成され、その結果、当会に対する期待感は一段と高まって参りました。

私たちは「協力隊等が得た経験を共有することで、多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築く」という会の使命を果たす為、当会の体制を一新して更なる活動の充実を目指す年と位置づけ、諸活動に取り組んで参ります。

具体的には、全国 46 道府県 2 市の仲間とは「情報と課題」を共有し、企業向けセミナーや人材研修、スタディツアーの開催、映画「クロスロード」の自主上映会等を通じて、現代社会に求められている「地域創生」や「持続可能な開発目標 (SDGs)」という課題解決の一端を担う活動に繋げて参ります。

また、「内から外へ」を合言葉に推進してきた他団体との交流については、時間の経過とともに人的ネットワークが広がり、活動の連携にまで発展しています。私たちは、(公社)日本青年会議所や連合等の諸団体をはじめ、ライオンズクラブや NGO/NPO との協働を更に進め、より多くの方に青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業と育てる会活動に対する理解を広めて参ります。

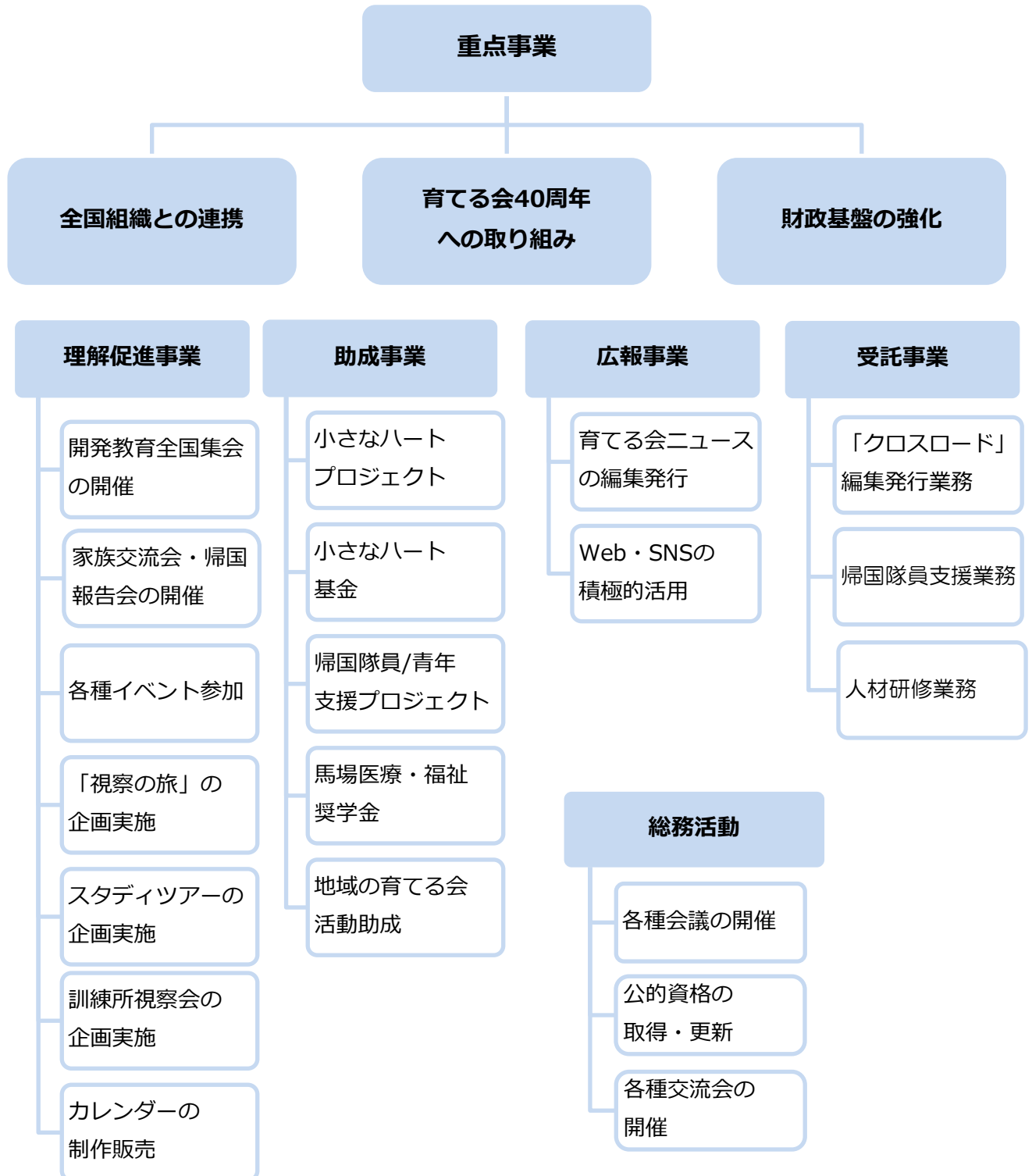
そして、こうした活動を通じて、途上国をはじめ世界の問題を自分の問題として考える素養を身に着けた協力隊等経験者を、民間企業や市民社会に繋ぐプラットフォームとしての役割を担いながら、小さなハートプロジェクトやカレンダー等を通じて支援を拡充し、会員の拡大を目指して参ります。

近年は、全国育てる会のネットワークや知見、そしてこれまでの「視察の旅」のノウハウを活かして、省庁や自治体、教育機関等から研修事業を受託しています。こうした事業に対しては積極的に参画し、次世代の JICA ボランティア育成に繋げるだけでなく、財政基盤強化にも繋げて参ります。

当会は、これからも自由な発想を持って青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業と社会を繋ぐ活動を展開し、協力隊経験者や全国の育てる会、そして会員の皆さまから頼りにされ、時代の要請に応えられる組織となるべく活動を進めて参ります。会員の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。



平成 28 年度事業計画

【重点事業】

1. 全国組織との連携

■全国育てる会と情報・課題の共有を更に深める。

- 1) 社団広報媒体の活用（育てる会ニュース、Web ページ、facebook 等）
- 2) ブロック懇談会の開催
- 3) 全国育てる会記念行事等への参加
- 4) 全国育てる会事務局長会議の開催

日 時 : 11 月または 2017 年 1 月

場 所 : 東京都内

■全国育てる会との協働活動を展開する。

- 1) 現職参加、民間連携ボランティア、帰国後採用等の理解促進セミナーの開催
- 2) 青年海外協力隊 50 周年記念誌「持続する情熱」の全国拡販

■全国育てる会の諸活動に対して側面支援を行う。

- 1) 映画「クロスロード」自主上映会の推進支援
- 2) 組織運営へのフォローアップ
- 3) メーリングリストによる情報共有
- 4) 諸活動やイベント情報等の広報

2. 育てる会 40 周年への取り組み

■会員ならびに支援者に謝意を表するとともに、全国組織としての更なる飛躍をアピールするため、記念式典を開催する。

- 1) 設立 40 周年記念式典ならびに祝賀会の開催

日 時 : 11 月 (予定)

場 所 : 東京都内

- 2) 育てる会活動の貢献者ならびに支援者への感謝状授与

日 時 : 同上

場 所 : 同上

■50周年という大きな節目に向けて、育てる会活動の役割を再確認するとともに、活動記録の整理・継承、社会への更なる理解促進を目的に広報宣伝を行う。

- 1) 育てる会ニュースにおける特別連載
- 2) Web情報の充実化
- 3) 40周年記念広報媒体の制作

3. 財政基盤の強化

■「内から外へ」を合言葉に他団体との連携を広げ、会員及び事業拡大に繋げる。

1) 日本青年会議所、連合、経営者協会等、経済団体との協働

(1) 第87回メーデー中央大会

主 催 : 連合第87回メーデー中央大会実行委員会

日 時 : 4月29日(金祝)

場 所 : 代々木公園

(2) 2017年度京都会議

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

日 時 : 2017年1月末

場 所 : 国立京都国際会館

2) ライオンズクラブ、ロータリークラブ等、NPO/NGO団体との協働

(1) 地域催事への参加

主 催 : 文京区小石川・表町町会

日 時 : 9月頃

場 所 : 傳通院参道

3) 「持続可能な開発目標」(SDGs)、「地域創生」に取り組む民間企業等との協働

4) スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム等、スポーツ関連団体との協働

■サポート事業(就活・婚活・終活)を通じて会員及び事業拡大に繋げる。

- 1) 帰国隊員の人材紹介
- 2) 帰国隊員の婚活支援
- 3) 福利厚生サービスの普及

■帰国隊員が関わる事業を通じて会員及び事業拡大に繋げる。

- 1) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売
- 2) 帰国隊員が関わる事業の発掘および紹介

■JICAをはじめ他省庁、自治体などの事業受託を通じて事業拡大に繋げる。

- 1) 海外研修・人材育成事業の開拓および新規受託

【理解促進事業】

- 1) 開発教育全国集会の開催

協力隊事業を通じた国際理解と人材育成、ならびに協力隊経験の社会還元を広く市民に周知する場として、全国育てる会とともに開催する。

開催：年1～2回程度

場所：未定

- 2) 家族交流会・帰国報告会の開催

協力隊事業の理解普及を目的に、協力隊家族をはじめ将来協力隊参加を志す学生、また社会貢献団体等を対象に帰国隊員の活動報告会を機会あるごとに企画・開催する。

- (1) 家族交流会

対象：協力隊家族ならびに協力隊参加希望者

開催：年2回程度

- (2) 帰国報告会

対象：社会貢献団体や企業団体関係者

開催：適宜

- 3) 各種イベントへの参加

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、各種イベントへ機会あるごとに参加する。

- (1) 協力隊まつり2016

主催：協力隊まつり実行委員会

日時：4月23日(土)～24日(日) 10:00～17:00

場所：JICA地球ひろば(市ヶ谷)

- (2) JICA地球ひろば設立10周年記念感謝祭

主催：JICA地球ひろば

日時：5月28日(土) 10:00～16:00

場所：JICA市ヶ谷ビル

- (3) グローバルフェスタ2016

主催：グローバルフェスタ実行委員会

日時：10月1日(土)～2日(日)

場 所 : 場所未定

4) 隊員活動の広報

各種団体の広報媒体と帰国隊員を結び、協力隊事業の理解促進を目的としたレポートを発信する。

掲 載 : FEC NEWS (月1回発行)

発 行 : 民間外交推進協会

テーマ : 「協力隊に見る日本の若者の姿」

内 容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

5) 「視察の旅」の企画・実施

協力隊家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げることを目的に企画・実施する。

企画国 : アフリカ・中南米・中東・アジア・大洋州の隊員派遣国 (29ヶ国を予定)

実 施 : 5月以降確定

6) スタディツアーの企画・実施

学生や社会人を対象に、現地の活動視察を通じて協力隊事業をはじめ異文化・国際協力の理解者を増やすとともに支援の輪を広げることを目的に企画・実施する。

(1) 一般向けスタディツアー

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

対 象 : 全国の支援者、一般の参加希望者

実 施 : 8月28日(日)～9月4日(日)

場 所 : キルギス共和国

(2) 学生向けスタディツアー

①山形県庄内町青少年育成事業

主 催 : 山形県庄内町、同教育委員会

対 象 : 山形県庄内町の中学生・高校生

実 施 : 12月(予定)

場 所 : 東南アジア地域

②日本外国語専門学校学生研修事業

主 催 : 日本外国語専門学校

対 象 : 日本外国語専門学校に在籍する1～3年生

実 施 : 11月(予定)

場 所 : 東南アジア地域

7) 訓練所視察会の企画・実施

JICAの「訓練所から世界が見える」訪問プログラムを活用し、グローバル人材や異文化・国際理解教育等に関心のある企業や教育機関を対象に、JICA二本松または駒ヶ根訓練所の体験視察会を企画・実施する。

(1) 学生向け訓練所視察会

主 催 : 日本外国語専門学校

対 象 : 同校学生

開催日 : 2017年2月~3月(1泊2日)

概 要 : 語学ならびに異文化授業体験、帰国報告会開催、帰国隊員活動視察等

(2) 企業・団体向け訓練所視察会

主 催 : 各企業・団体と一般社団法人協力隊を育てる会の共催

対 象 : 各企業・団体の管理職等

開 催 : 適宜

8) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用し、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツール、企業のSDGsツールとして制作・販売する。

テーマ : 途上国の子どもたち、生活文化、ボランティア活動など

仕 様 : A4横/フルカラー/14枚綴り(28P)/オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 13,000部

制 作 : 5月~8月

販 売 : 9月中旬(予定)

【助成事業】

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援する。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高める。

支援金額 : 1件につき上限300,000円

支援件数 : 10件程度

募集期間 : 通年

審 査 : 審査員により随時実施

2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災をはじめ国内各地で発生する自然災害への復旧・復興支援活動や、その経験をもとに地域活性化等に取り組む帰国隊員の活動に対し支援を行う。

支援金額：1件につき上限 300,000 円

支援件数：3件程度

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

3) 帰国隊員/青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

審査選考：選考委員会にて10月頃実施

4) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：1,000,000 円

募集期間：7月1日（火）～8月31日（日）

審査選考：帰国隊員/青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

5) 地域の育てる会活動助成

地域の育てる会が実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対し、助成金を給付する。

支援金額：1組織につき上限 80,000 円（予定）

給付時期：夏～秋（予定）

対象事業：以下の3事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動

【広報事業】

1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ「情報ツール」として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。40周年を機に、より見やすく新たなイメージを打ち出すため、今年度より紙面を横書きとする。

発行数 : 約 8,000 部/毎月

仕様 : モノクロ/タブロイド版/4 ページ

構成 : 1 面～最新トピックス、「育てる会を支えた人たち」(40 周年記念連載)

2 面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介 (国際協力時評)

3 面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4 面～各種インフォメーション

2) Web や SNS による情報提供

育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させる。

(1) Web による情報発信

①全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報 (告知および報告等) の提供

②帰国隊員が関わる事業やその商品情報の提供

③各種支援情報の提供

(2) メールリストを活用した派遣中隊員及び帰国隊員の情報収集

①カレンダー写真の募集

②帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集

③人材紹介事業の登録者募集

④各県組織からの情報提供

⑤会員団体からの情報提供

【受託事業】

1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的な業務遂行を目指す。

(1) 「クロスロード」誌編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集、発行 (年 15 号/増刊 3 号含む)

契約 : 2015 年～2017 年 (3 年間)

(2) 「JICA ボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行の事務手続き、現職参加促進に向けた啓発及び調査等

契約 : 2015年～2017年(3年間)

2) その他受託事業の新規受託

「視察の旅」や各種研修事業のノウハウと、帰国隊員ならびに全国育てる会のネットワークを活かして、青少年の海外派遣をはじめとする人材育成業務の新規受託を目指す。

(1) 「2016-2017年度国際協力レポーター運営事務局業務」

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ODAの理解促進を目的とした学生・社会人の参加型モニター事業の運営

実施国 : セネガル(翌年度は別国)

(2) 「大学生フィールド・スタディ・プログラム運営事務局」業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 日本大学生のグローバル人材育成を目的としたアジアでのフィールドスタディ演習

実施国 : 東南アジア

【総務活動】

1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確かな組織運営ならびに事業活動を推進することを目的に、各種会議等を開催する。

(1) 第41回通常総会

開催日 : 5月26日(木) 14:00～19:30

場所 : TKP市ヶ谷カンファレンスセンター(新宿区市谷八幡町8番地)

【プログラム】

第1部 通常総会(14:00～15:50)

第2部 特別講演会(16:30～17:50)

講師 : ジャグモハン・S・チャンドラニ氏(実業家・江戸川インド人会会長)

演題 : 隣人を助けるボランティアの精神

～インドのゴッドファーザーに学ぶ、人との関わり方～

第3部 交流会(18:00～19:30)

(2) 理事会

年3回の開催（5月、12月、3月）

(3) 常任理事会

原則として毎月開催

(4) 委員会

支援、事業、総務の3委員会を必要に応じて適宜開催

(5) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催

2) 公的資格の継続取得

(1) 一般競争入札（指名競争）参加資格（継続）

(2) 有料職業紹介事業（継続）

(3) 一般労働者派遣事業（継続）

3) 各種交流会の開催

(1) 「新春の集い」

日 時 : 2017年1月

場 所 : 東京都内

以上

平成28年度収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日(決算)まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
事業活動収入				
1 基本財産運用収入	5,000	5,000	0	
2 入会金収入	100,000	120,000	△ 20,000	
3 会費収入	6,500,000	5,800,000	700,000	
4 研修会費収入	11,910,000	6,690,000	5,220,000	視察の旅、訓練所視察等
5 広告料収入	2,700,000	2,700,000	0	育てる会ニュース
6 手数料収入	6,828,000	15,200,000	△ 8,372,000	記念誌、会員発送代行
7 カレンダー販売収入	6,000,000	6,000,000	0	
8 帰国隊員等支援受託収入	19,566,000	17,000,000	2,566,000	2015.5月入札
9 クロス編集業務等受託収入	61,359,000	61,442,000	△ 83,000	広報記事作成受託含む
10 クロス会員差込	744,000	870,000	△ 126,000	
11 その他受託収入	9,000,000	5,800,000	3,200,000	海外研修事業
12 助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13 寄付金収入	2,800,000	3,000,000	△ 200,000	小さなハート等
14 雑収入	1,770,000	1,000,000	770,000	サポ-ト、カワロギキ等
経常収益合計	132,282,000	128,627,000	3,655,000	
事業活動支出				
15 給料手当	46,159,000	46,967,000	△ 808,000	職員12名
16 退職共済掛金	1,080,000	1,080,000	0	
17 福利厚生費	6,865,000	7,272,000	△ 407,000	社会保険等
18 旅費交通費	10,305,000	9,512,000	793,000	クロス取材、各県組織等
19 通信運搬費	5,917,000	5,970,000	△ 53,000	
20 会議費	2,985,000	3,330,000	△ 345,000	代表者、ブロック会議、50周年
21 修繕費	1,560,000	1,583,000	△ 23,000	
22 印刷製本費	18,535,000	14,099,000	4,436,000	クロス、カレンダー等
23 賃借料	6,184,000	6,092,000	92,000	家賃、OA機器
24 光熱水費	600,000	624,000	△ 24,000	
25 保険料	398,000	183,000	215,000	
26 諸謝金	2,525,000	2,920,000	△ 395,000	クロス原稿等
27 消耗品	350,000	350,000	0	
28 租税公課	4,883,000	4,810,000	73,000	
29 支払負担金	2,892,800	3,227,000	△ 334,200	会計士、社労士、Pマーク等
30 支払助成金	8,700,000	8,850,000	△ 150,000	ハート、OB支援、各県助成、
31 寄付金支出			0	
32 委託費	8,121,200	6,998,000	1,123,200	クロス校正、デザイン
33 雑支出	4,222,000	4,760,000	△ 538,000	
経常費用合計	132,282,000	128,627,000	3,655,000	
事業活動収支差額	0	0	0	

一般社団法人 協力隊を育てる会

第 41 回通常総会

議案書

第 1 号議案 平成 27 年度決算承認の件

第 1 号議案 平成 27 年度決算承認の件
 公益目的支出計画実施報告書
 監事監査報告書

第 2 号議案 役員に関する件

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日(決算)まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用利益	2,061	5,182	▲3,121
基本財産受取利息	2,061	5,182	▲3,121
受取入金会金	61,000	166,100	▲105,100
受取入金会金	61,000	166,100	▲105,100
受取会費	15,515,642	13,397,960	2,117,682
正会員受取会費	5,333,464	5,662,364	▲328,900
研修会受取会費	10,182,178	7,735,596	2,446,582
事業収益	97,194,107	132,586,802	▲35,392,695
広告料収入	2,800,540	2,905,080	▲104,540
手数料収入	7,474,164	4,541,878	2,932,286
カレンダー等販売収入	4,683,600	5,225,956	▲542,356
帰国隊員等支援受託収入	19,241,942	17,619,513	1,622,429
クロス編集業務受託収入	61,064,987	66,464,787	▲5,399,800
クロス差込収益	875,146	873,659	1,487
その他受託収入(BOP)	1,053,728	34,955,929	▲33,902,201
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	2,577,902	3,477,461	▲899,559
受取寄付金	2,577,902	3,477,461	▲899,559
雑収益	2,909,892	2,293,222	616,670
受取利息	3,715	4,642	▲927
雑収益	2,906,177	2,288,580	617,597
經常収益計	121,260,604	154,926,727	▲33,666,123
經常費用			
事業費	118,243,331	136,336,819	▲18,093,488
給料手当当金	39,560,918	44,004,610	▲4,443,692
退職共済掛金	864,000	756,000	108,000
福利厚生費	6,760,650	7,102,082	▲341,432
旅交通費	10,156,231	20,947,026	▲10,790,795
通信運搬費	6,381,152	5,118,734	1,262,418
会議費	1,406,701	1,450,431	▲43,730
消耗品費	3,650	59,743	▲56,093
修繕費	1,461,386	1,085,837	375,549
印刷製本費	17,481,479	20,206,121	▲2,724,642
光熱水料	329,402	0	329,402
賃借料	2,655,553	2,630,929	24,624
保険料	322,360	533,125	▲210,765
諸謝金	2,578,000	3,192,880	▲614,880
租税公課	4,431,900	5,911,300	▲1,479,400
支払負担金	3,000	0	3,000
支払助成金	9,312,798	8,706,013	606,785
委託費	7,978,014	9,606,621	▲1,628,607
雑費	6,556,137	5,025,367	1,530,770
管理費	19,202,126	17,310,860	1,891,266
給料手当当金	6,761,892	4,527,358	2,234,534
退職共済掛金	216,000	204,000	12,000
福利厚生費	814,227	730,687	83,540
会議費	620,652	851,082	▲230,430
旅交通費	261,090	327,823	▲66,733
通信運搬費	716,672	1,082,067	▲365,395
減価償却費	39,983	49,980	▲9,997

正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消 耗 品 費	403,537	276,630	126,907
修 繕 費	431,442	448,315	▲16,873
印 刷 製 本 費	266,165	256,416	9,749
光 熱 水 料 費	329,402	687,955	▲358,553
賃 借 料	3,817,707	3,841,609	▲23,902
保 険 料	58,175	72,457	▲14,282
諸 謝 金	0	20,000	▲20,000
租 税 公 課	14,000	21,200	▲7,200
支 払 負 担 金	3,538,744	2,707,582	831,162
雑 費	912,438	1,205,699	▲293,261
経 常 費 用 計	137,445,457	153,647,679	▲16,202,222
評価損益等調整前当期経常増減額	▲16,184,853	1,279,048	▲17,463,901
当期経常増減額	0	0	0
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
繰引前当期一般正味財産増減額	▲16,184,853	1,279,048	▲17,463,901
法人税、住民税及び事業税	70,000	435,900	▲365,900
当期一般正味財産増減額	▲16,254,853	843,148	▲17,098,001
一般正味財産期首残高	74,001,322	73,158,174	843,148
一般正味財産期末残高	57,746,469	74,001,322	▲16,254,853
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	57,746,469	74,001,322	▲16,254,853

貸借対照表

平成28年3月31日現在(決算)

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	6,947,887	10,547,038	▲3,599,151
現金	81,012	554,453	▲473,441
普通預金	6,866,875	9,992,585	▲3,125,710
未収会費	125,000	0	125,000
未前収払蔵金品	24,580,064	35,787,845	▲11,207,781
前貯	0	5,940,526	▲5,940,526
流動資産合計	31,697,913	52,325,863	▲20,627,950
固定資産			
基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
特定資産			
奨学貸付引当資産	5,612,948	6,042,948	▲430,000
特定資産合計	5,612,948	6,042,948	▲430,000
その他固定資産			
建物附属設備	159,936	199,920	▲39,984
敷金	806,000	806,000	0
奨学貸付金	2,387,052	1,957,052	430,000
その他固定資産合計	3,352,988	2,962,972	390,016
固定資産合計	28,965,936	29,005,920	▲39,984
資産合計	60,663,849	81,331,783	▲20,667,934
II 負債の部			
流動負債			
未払受入金	266,490	578,083	▲311,593
未前預り金	1,396,400	1,277,900	118,500
預り金	1,184,490	767,878	416,612
未払消費税等	0	4,504,900	▲4,504,900
未払法人税等	70,000	201,700	▲131,700
流動負債合計	2,917,380	7,330,461	▲4,413,081
負債合計	2,917,380	7,330,461	▲4,413,081
III 正味財産の部			
一般正味財産	57,746,469	74,001,322	▲16,254,853
正味財産合計	57,746,469	74,001,322	▲16,254,853
負債及び正味財産合計	60,663,849	81,331,783	▲20,667,934

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	6,042,948	0	430,000	5,612,948
合 計	26,042,948	0	430,000	25,612,948

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	367,500	207,564	159,936
合 計	367,500	207,564	159,936

附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会
 事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	6,042,948	0	430,000	5,612,948

第1号議案 平成27年度決算承認の件

公益目的支出計画実施報告書

【27年度（2015/4/1から2016/3/31まで）の概要】

1. 公益目的財産額	81,720,787円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（（1）＋（2）－（3））	34,062,852円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	22,107,457円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	18,017,497円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	6,062,102円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	47,657,935円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	

【公益目的支出計画の状況】



公益目的支出計画の	(1) 計画上の完了見込み	平成35年3月31日
完了予定事業年度の末日	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円
公益目的収支差額	16,543,108円	22,107,457円	24,814,662円	34,062,852円	33,086,216円
公益目的支出の額	16,881,554円	17,206,174円	16,881,554円	18,017,497円	16,881,554円
実施事業収入の額	8,610,000円	6,414,406円	8,610,000円	6,062,102円	8,610,000円
公益目的財産残額	65,177,679円	59,613,330円	56,906,125円	47,657,935円	48,634,571円

平成28年5月11日

監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会
代表理事 足立 房夫 殿

監事 白山 肇 
監事 中野 義人 

私たち監事は、第3期事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を読覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しているものと認めます。

以上

一般社団法人協力隊を育てる会役員（案）
（平成28－29年度）

理事	新任	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
理事	新任	岩田 公雄	ジャーナリスト、学習院大学特別客員教授
理事	再任	奥永眞智子	一般社団法人協力隊を育てる会前事務局長
理事	再任	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
理事	再任	澤田 澄子	キヤノン株式会社元CSR推進部部長
理事	再任	重 政子	NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
理事	再任	島田 茂	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
理事	新任	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
理事	再任	土井 章	日本防災プラットフォーム常務理事兼事務局長
理事	新任	鳥澤 文彦	日本青年団協議会事務局長
理事	再任	松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長
理事	再任	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
理事	再任	山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
理事	再任	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
理事	新任	山本 保博	一般財団法人救急振興財団会長
監事	再任	白山 肇	大東文化大学環境創造学部非常勤講師
監事	再任	中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授